

## ■温室効果ガス削減の目標

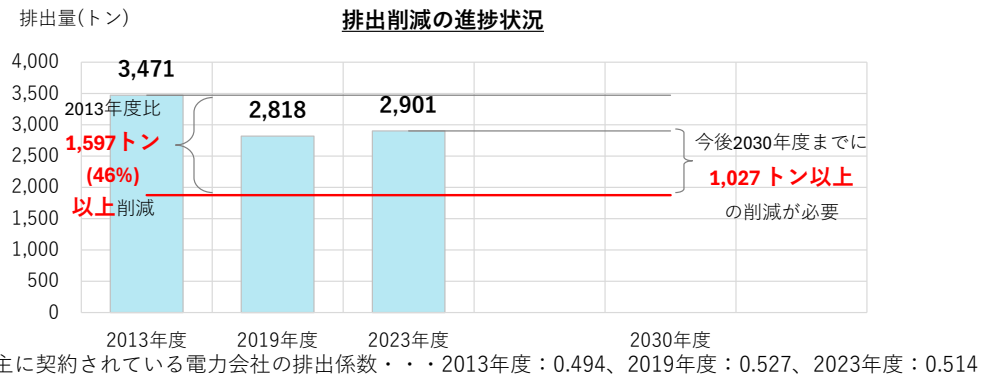
|        | 削減目標 (政府目標値)             |
|--------|--------------------------|
| 2030年度 | 2013年度比 46% (1,597トン) 以上 |
| 2050年度 | カーボンニュートラル               |

## ■温室効果ガス排出量の推移

小松空港の2023年度の温室効果ガス排出量は、2019年度比83トン増加の2,901トンである。  
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後1,027トンの削減が必要である。

|      | 温室効果ガス排出量(トン) |        |        |
|------|---------------|--------|--------|
|      | 2013年度        | 2019年度 | 2023年度 |
| 空港施設 | 3,094         | 2,577  | 2,659  |
| 空港車両 | 377           | 241    | 243    |
| 計    | 3,471         | 2,818  | 2,901  |

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



## ■2019年度～2023年度の温室効果ガス排出量の増減背景

小松空港では、コロナ禍前 (2019年度) と比べ2023年度の航空機の運航回数は9割弱、旅客数は8割程度に留まっており、主に契約されている電力会社の排出係数も低下した。一方、脱炭素化施策の取組も行われているもののエネルギー使用量が増加していることを背景に、温室効果ガス排出量は2019年度に比べて増加した。

## ■脱炭素化施策の取組状況

|              |   |
|--------------|---|
| 空港施設に係る取組    | <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用等、空調の高効率熱源の導入や省エネルギー運用等の取組が行われた。</li><li>▶ 航空灯火のLED化の取組が行われた。</li></ul> |
| 空港車両に係る取組    | <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 電動車への更新が行われた。</li></ul>   |
| 再エネ導入促進に係る取組 | (当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)  |
| その他の取組       | <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 小松駅～小松空港間で自動運転のEVバスの通年試験運行が開始された。</li></ul>   |